

国の重要文化財に指定されている三田演説館と、赤レンガの図書館旧館——慶應義塾の代名詞ともいえる三田は、随所に明治以来の伝統を感じることでできるアカデミックな雰囲気のカンパスです。「丘の上には空が青いよ」とカレッジソング「丘の上」に歌われているように、三田キャンパスへは、どの門からも坂を上っていくことになります。構内には「福澤諭吉終焉之地記念碑」など数多くの記念碑や美術作品が点在しています。また、塾監局を中心とした法人本部も三田にあります。三田では、文学部の2～4年生、経済・法・商学部の3・4年生と大学院生が学んでいます。

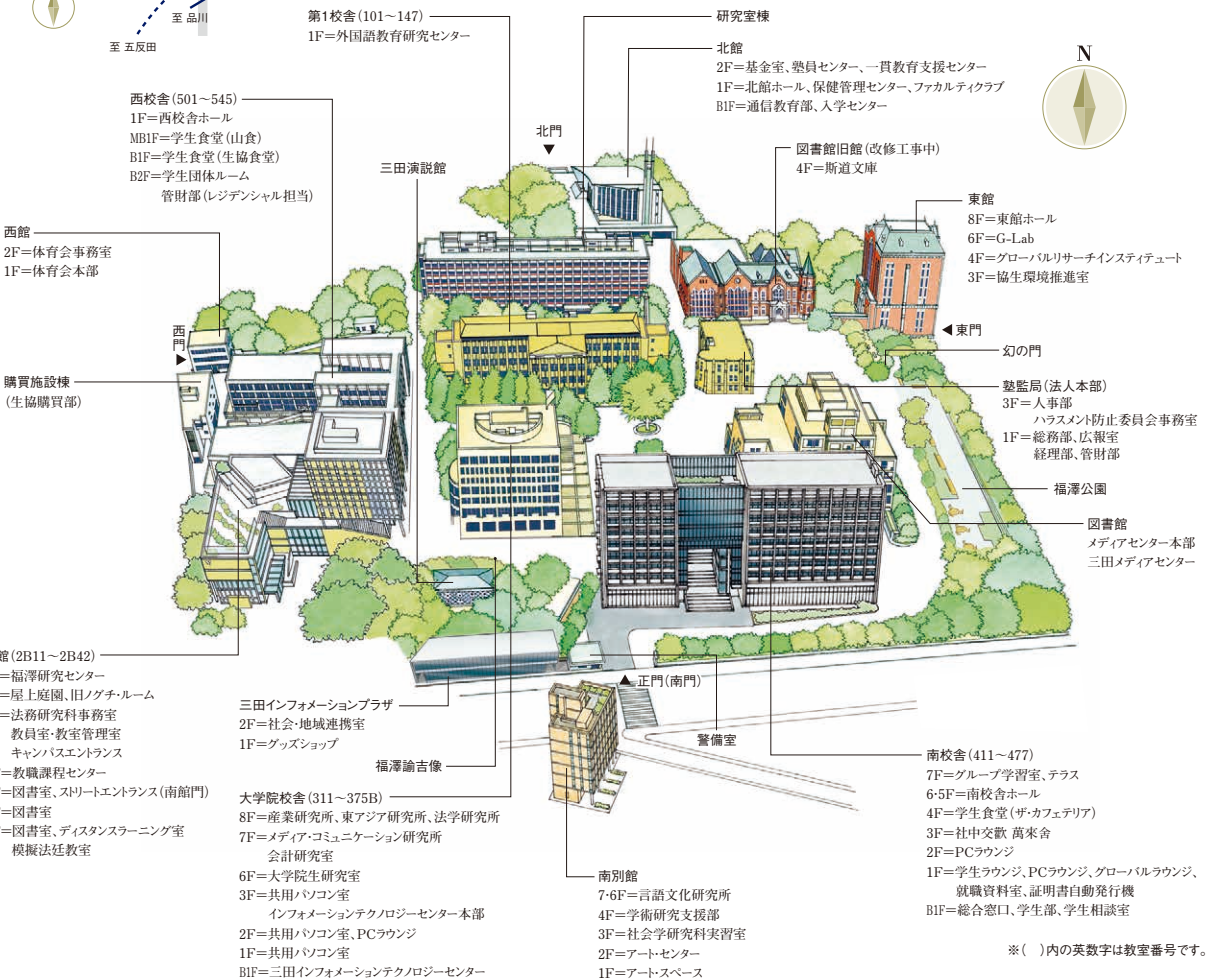


Campus Life

三田

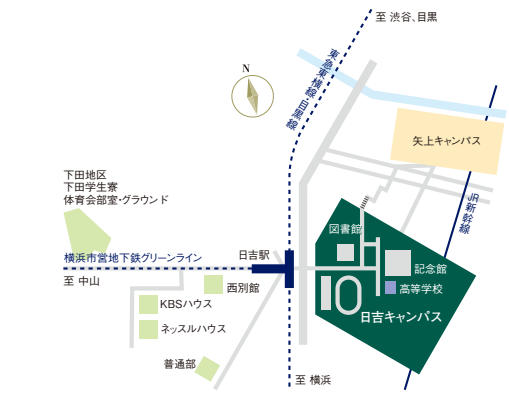
MITA CAMPUS

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車(徒歩8分)
- 都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車(徒歩7分)
- 都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車(徒歩8分)



日吉 HIYOSHI CAMPUS

●東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車(徒歩1分)



①日吉図書館

“船”をモチーフとした日吉図書館は、学習・教育・研究活動を支援するための多様な資料や環境を提供するだけでなく、図書館や情報を活用する能力を身につけてもらえるよう情報リテラシー教育にも力を注いでいます。

③食堂棟

食堂棟1階には生協食堂(「遊遊キッチン」:472席・テラス席220席、麺専門店「麺's遊遊」:104席)があります。2階にはグリーン食堂(グリーンズマルシェ:531席)、専門店のさぼてんExpress(30席)、焼きたてパンなどの喫茶売店があります。大学、学生、食堂業者で施設・献立・衛生面などを話し合い、安くて豊富なメニューを提供しています。また、3階には公認学生団体のための集会室などが設けられています。



福澤諭吉像

日吉の福澤先生胸像は、塾生の待ち合わせスポットの一つ。福澤先生の生誕150年を記念して1985年に建てられたものです。この胸像の台座部分に腰掛けたり足を掛けたりするという噂もありますが、真実は如何に。



⑤第6校舎地階グリーンズテラスとその周辺

“スペイン広場”と呼ばれる円形の階段を降りると約160席を有する食堂があり、セットメニュー、丼物などが充実しています。昼の時間帯以外のサービスセットも人気です。



④協生館

経営管理研究科(ビジネス・スクール)、システムデザイン・マネジメント研究科、メディアデザイン研究科の3大学院の施設、体育の授業が行われる体育施設のほか、藤原洋記念ホール、開放型体育施設、保育支援施設、クリニック、コンビニ、カフェなど、大学内外の方が利用できる施設が整備されています。



④第4校舎独立館

1階には塾生の学生生活(授業・課外活動)を支援する学生部があります。



⑤保健管理センター(日吉診療所)

塾生の健康管理、病気の予防のために定期健康診断や健康相談を行っています。ケガや病気をした場合などには併設の診療所が利用できます。

●受付時間 8:45~11:30 13:00~16:15
(土曜日は休診)

※学生証を持参してください。他のキャンパスにも分室、診療所があります。これからの大学生活で、ぜひ有効に活用してください。



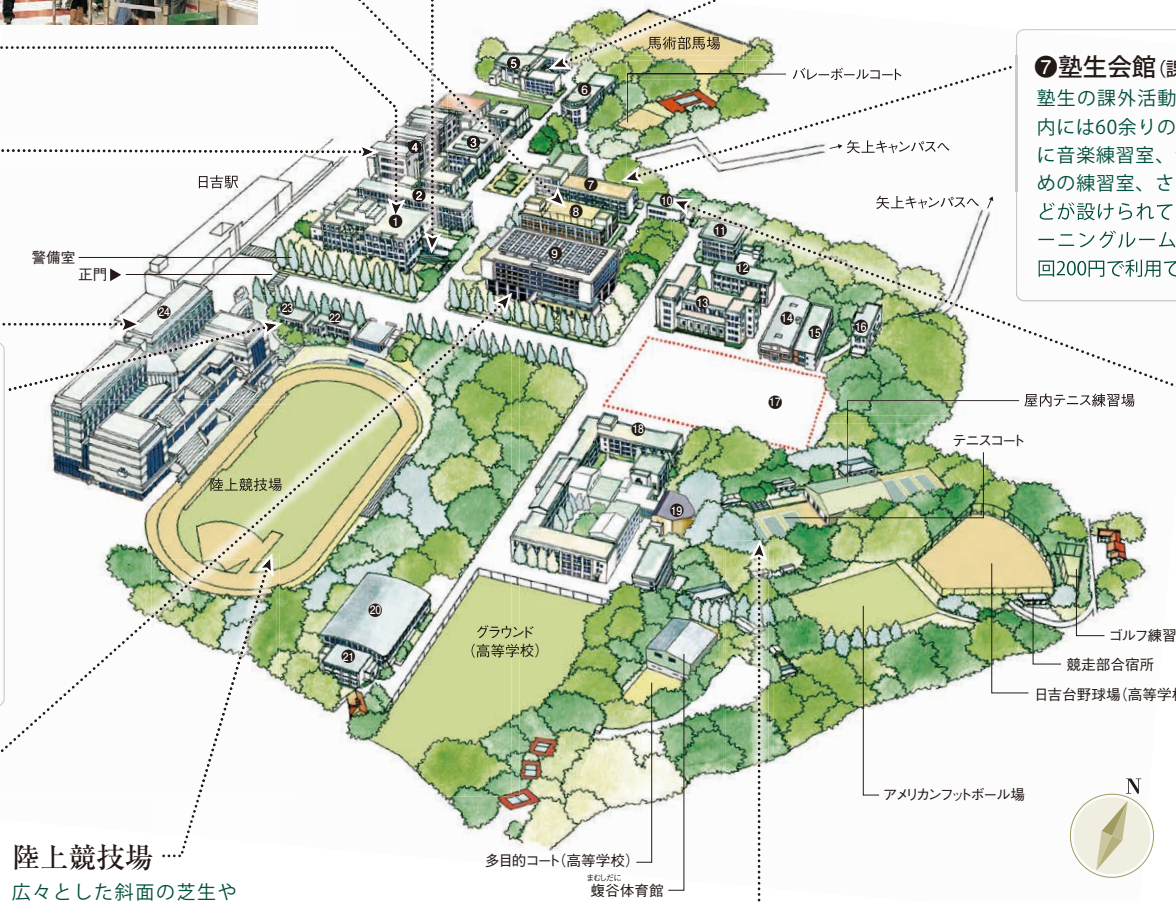
⑨来往舎

地上7階建ての列柱と大きなガラスが特徴の建物。エントランスから入ると開放的な吹き抜け空間で、ここは各種イベント(コンサート、演劇など)にも利用されています。1階から3階までは会議室や共同研究室などを含む複数のタイプの研究スペースからなり、4階から7階には約200室の研究個室があります。



陸上競技場

広々とした斜面の芝生や観覧席で日光浴をしたり、弁当を広げたりする学生も多く見られます。



⑦塾生会館(課外活動棟)

塾生の課外活動のための施設で、館内には60余りの学生団体部室、地階に音楽練習室、演劇・舞踊関係のための練習室、さらに印刷室、暗室などが設けられています。1階のトレーニングルームとシャワー室は、1回200円で利用できます。



⑩生協購買部

大学生生活の必需品が一通り揃う、便利な日吉店。1階には文具、食品など各種コンビニ商品のほか、慶應オリジナルグッズも豊富です。2階は書籍、PC関係など、3階は自動車教習所の紹介や旅行関係、各種スクール、検定などを扱っています。また、コピーなどのサービスも行っています。最大の魅力は、市価より安く購入・利用できることでしょう。



小泉信三記念碑

庭球部コート西側斜面にあるこの碑は、義塾の庭球部を“庭球王国”へと導いた小泉信三元塾長を記念して1967年に建てられました。刻まれているのは、小泉博士の名言「練習ハ不可能ヲ可能ニス」です。



湘南藤沢

SHONANFUJISAWA CAMPUS

福澤諭吉像

慶應義塾の歴史と伝統を守りつつ、未来を先導するSFC。福澤先生は、中庭から静かに見守っています。



- 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台駅下車(西口よりバス「慶応大学行」約15分)
- JR東海道線 辻堂駅下車(北口よりバス「慶応大学行」約25分)

④アルファ館(本館)

タロー坂から上がってきてすぐ右手に見えるのが、A館。1階にある事務室では各種事務手続きや証明書の発行、履修・学生生活・奨学金・就職の相談、留学生のサポートに応じています。

●心身ウェルネスセンター

A館2階には、保健管理センター(湘南藤沢診療所)と学生相談部門があります。医師、看護職員、カウンセラーが病気やケガ、いろいろな悩みの相談に対応していますので気軽に利用してください。心身ウェルネスセンターの開室時間は9:00~17:30、医師診療日は保健管理センターWebサイトに確認してください。学生相談は予約制のため、窓口で申し込んでください。*学生証を必ず持参しましょう。

⑩体育館

1階にはウエイトトレーニングを主体とした各トレーニング場のほか、柔道場、剣道場などがあります。2階には、アリーナ(球技などが可能)とフィットネスルームがあります。



⑩看護医療学部校舎

看護医療学部の1・2・4年生が学んでいます。新しい時代にふさわしい看護医療の専門家を育成するため、校内に看護実習室、在宅看護実習棟など充実した実習設備を備え、コンピュータネットワーク環境も整備しています。健康マネジメント研究科の研究・教育もここでされています。



⑮未来創造塾 滞在棟1・2、DFF-W(Digital Fabrication Factory - Wood)

慶應義塾のグローバルゲートウェイとして、学生や教員、研究者が寝食を共にしながら、授業や研究に打ち込むための滞在型教育研究施設です。海外からの留学生や研究者、多様な分野の教員や学生が、合宿生活を送りながら交流、議論し、地球規模の課題に取り組みます。

研究・講義室棟

- ⑬カッパ館 ⑮エプシロン館
- ⑭イオタ館 ⑯オミクロン館
- ⑰ラムダ館

K・E・I・Oの4棟は“KEIO(慶應)”の順に並んでいます。研究棟の2階から5階までは主に教員の研究室として使われています。



⑮生協購買部(厚生棟)

文具、食品、化粧品、衣類、その他の雑貨、そして書籍など、大学生活に必要なもの一通り取りそろえてあり、航空券発行の手続きなどができるプレイガイドもあります。時間を忘れて研究に励む塾生のため、食品・飲料を充実させています。



⑮食堂

厚生棟地下1階に生協食堂があります。地上階には、本格的なピザやパスタを気軽に楽しめるカフェテリア「レディバード」と教職員向け食堂の「タプリエ」があります。



⑮メディアセンター(図書館)

キャンパスの中心に位置し、学生・教員の創造的活動を支援しています。図書・雑誌・DVD・電子書籍・電子ジャーナルなどの資料だけでなく、映像・音響などの編集機器やスタジオ、さらに3Dプリンタやレーザーカッターなどを使ってもづくりができる“ファブスペース”も設け、授業やさまざまなコンテンツ制作に活用できる環境を提供しています。PCやネットワーク・各種機器・データベースの利用やレポート作成について相談できる学生コンサルタントたちも、充実した学生生活が送れるよう手助けします。



旅人かへらずの碑

元文学部教授で詩人の西脇順三郎の詩碑。詩集『旅人かへらず』の冒頭の一節が強化ガラスに刻まれています。ここから鴨池越しに見るキャンパスもなかなか趣のあるものです。



- ④アルファ館(本館) 2F=心身ウェルネスセンター 1F=事務室
- ⑩オメガ館(大講義室棟)
- ⑪ミュー館(湘南藤沢メディアセンター、湘南藤沢イノベーションテクノロジーセンター)
- ⑬カッパ館(研究・講義室棟)
- ⑮エプシロン館(研究・講義室棟)
- ⑭イオタ館(研究・講義室棟)
- ⑯オミクロン館(研究・講義室棟)
- ⑰ラムダ館(研究・講義室棟)
- ⑱シータ館(大講義室棟)
- ⑲デルタ館(研究棟)
- ⑳タウ館(大学院棟、湘南藤沢事務室学術研究支援担当)
- ㉑サイ館(クラブハウス棟)
- ㉒フィ館(クラブハウス棟)
- ㉓ガンマ館(体育館)
- ㉔シグマ館(厚生棟)
- 1F=ファカルティクラブ(タプリエ)、カフェテリア(レディバード)、生協購買部
- B1F=生協食堂
- ②ニュー棟(研究棟)
- ③ゼータ館(研究棟、DFF-M)
- ①タロー坂
- ②テアトロン
- ③ステンレスの樹
- ④三田会の社の碑
- ⑤学生ラウンジ(サブウェイ)
- ⑥ガリバー池(通称:鴨池)
- ⑦セミナーゲストハウス
- ⑧テニスコート
- ⑨ミネルバの翼
- ⑩湘誠弓道場(中・高等部)
- ⑪湘南藤沢中等部、高等部
- ⑫大学グラウンド
- ⑬多目的グラウンド
- ⑭バスロータリー
- ⑮未来創造塾 滞在棟1・2 DFF-W
- ⑯看護医療学部校舎

- バス停留所
- ④慶応大学
- ⑤慶応大学本館前
- ⑥中高陸車場
- ⑦慶応中高等部前

⑩オメガ館(大講義室棟)

比較的人数の多い授業が行われます。



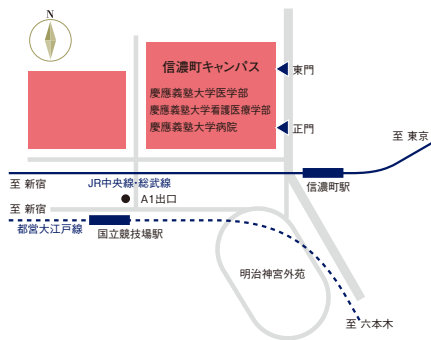
③ステンレスの樹

SFCのシンボルモニュメント。全面鏡面仕上げで、高さは4.6メートル。本誌の表紙を四半世紀描き続け、2000年に逝去された洋画家・清川泰次君(1944年経済学部卒)の作品です。SFCの設立に際し、「青年が何かが希望に向かって叫んでいるような」立体彫刻に仕上げられました。



大学病院と一体化した信濃町キャンパスでは、医学部の2年生以上と看護医療学部3年生が学んでおり、薬学部の一部の学生が病院実習を行っているほか健康マネジメント研究科の授業も行われています。北里記念医学図書館や各校舎が病院を取り巻くように建てられており、早い段階から医療現場を体験し、実際に患者さんと接しながら学ぶことに重点が置かれています。キャンパスの南には緑豊かな神宮外苑の杜が広がっています。

2017年に医学部は開設100年を迎え、2018年5月には開設100年を記念して建設された新病院棟(1号館)がオープンしました。

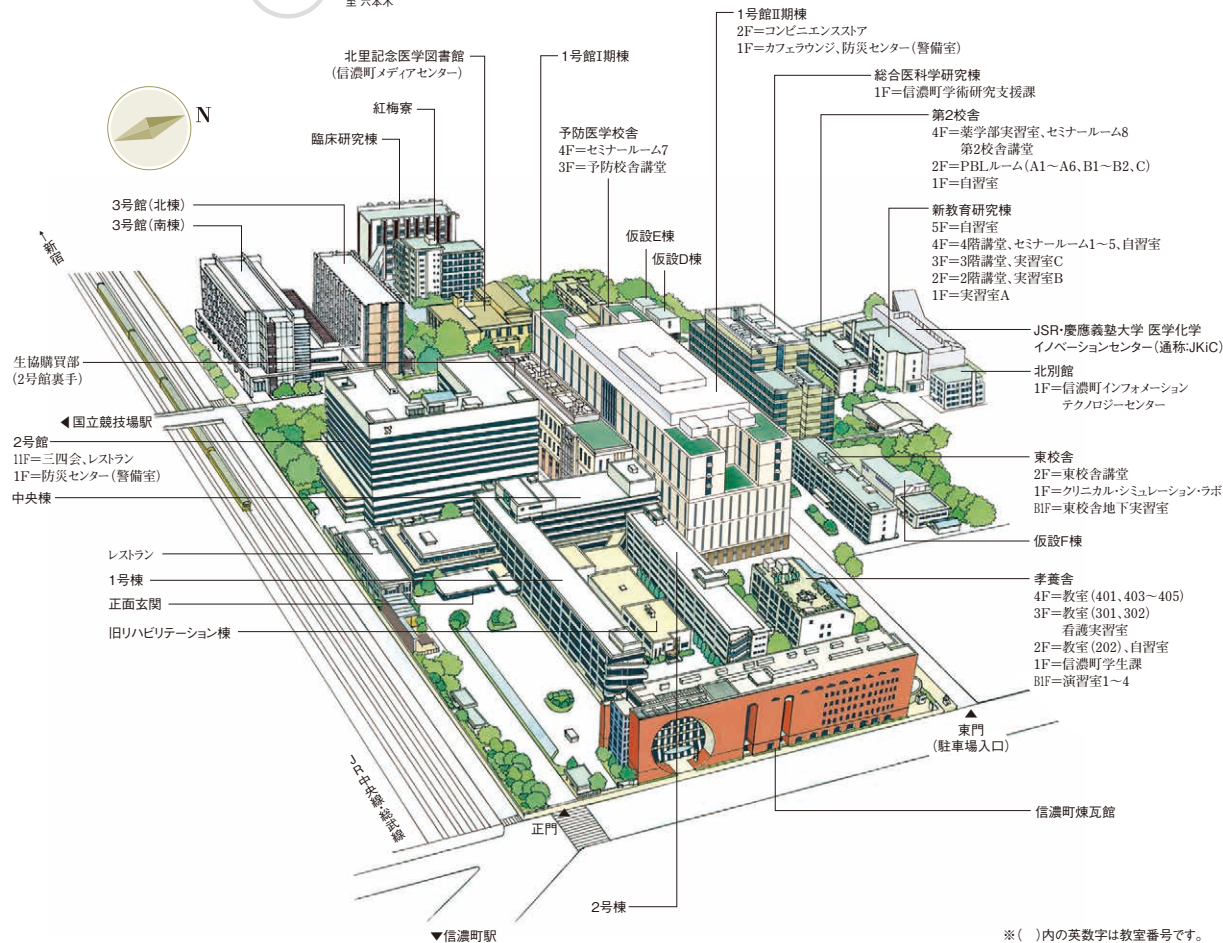


Campus Life

信濃町

SHINANOMACHI CAMPUS

- JR総武線 信濃町駅下車(徒歩1分)
- 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車(徒歩5分)



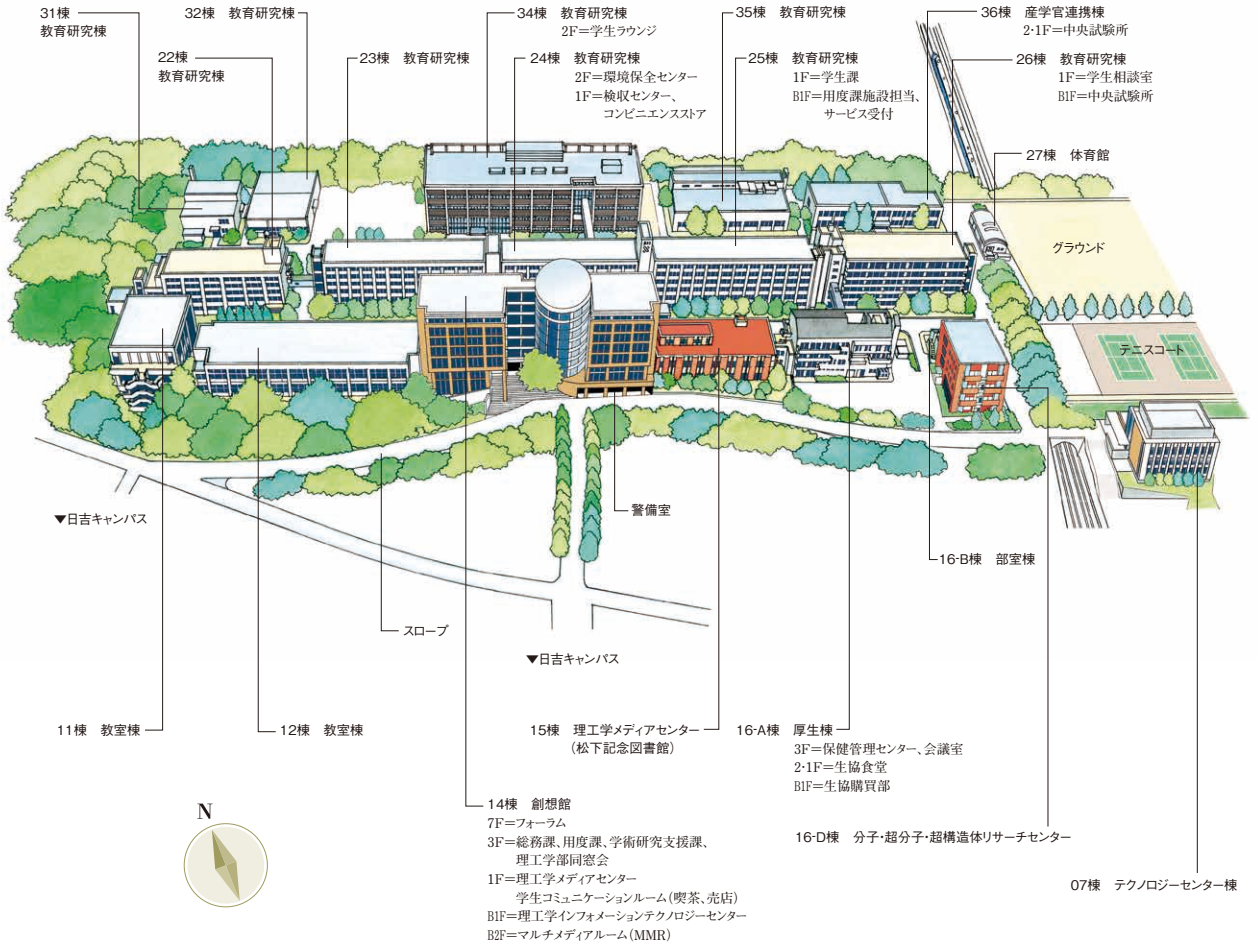
※()内の英数字は教室番号です。

矢上

YAGAMI CAMPUS

日吉キャンパスから谷ひとつ隔てた丘の上にそびえるのは「創想館」。新宿の高層ビル群や富士山、横浜ベイブリッジも一望でき、緑豊かな自然に恵まれた立地が矢上キャンパスの特徴です。ここでは理工学部3・4年生と大学院生が学び、実験と研究のキャンパスとして、最新の理工学教育・研究を担う多様な施設を擁し、日吉キャンパスとはまた違った雰囲気を感じ出しています。

- 東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車（徒歩15分／約1km）
- JR横須賀線 新川崎駅下車（タクシー約10分／約2km）

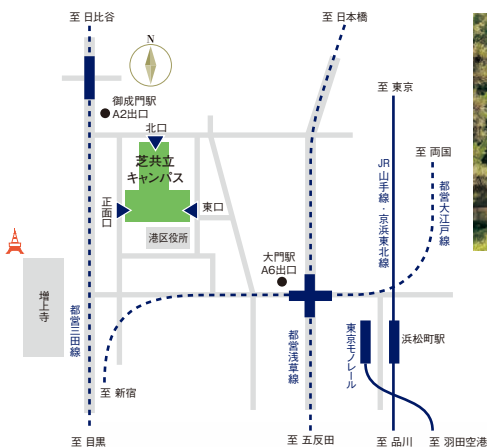


芝共立キャンパスでは、薬学部2年生以上と大学院薬学研究科の学生が学んでいます。また、薬学部の1年生も一部の科目をここで履修します。東京タワーを間近に見ることができる都心のキャンパスですが、周辺には増上寺や芝公園があり、緑の多い場所に位置しています。1930年の共立薬科大学創立以来、1万人以上もの薬剤師、薬学研究者を輩出したこのキャンパスでは、日々、研究室で実験に没頭する塾生の姿が見受けられます。

Campus Life

芝共立

SHIBA-KYORITSU CAMPUS

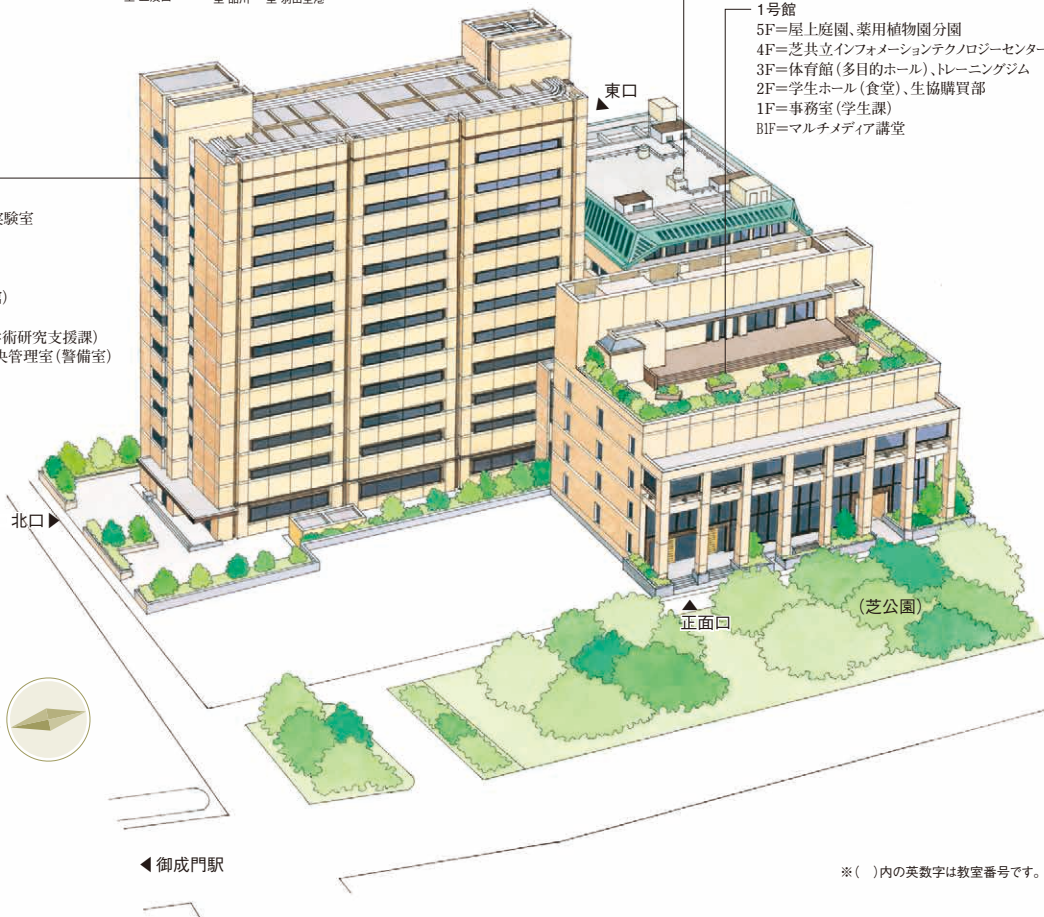


- JR山手線・京浜東北線 浜松町駅下車 (徒歩10分)
- 都営地下鉄三田線 御成門駅下車 (徒歩2分)
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅下車 (徒歩6分)

- 2号館
- 4F=記念講堂、会議室、創業研究センター
 - 3F=講義室 (351, 355)、実習室 (353, 354)
 - 2F=講義室 (251, 255)、実習室 (253, 254)
 - 1F=講義室 (151, 152, 155, 156)、実習室 (153, 154)
 - 保健管理センター、学生相談室
 - B1F=講義室 (B55)、実習室 (B53, B54)
 - 医療薬学実習室
 - B2F=動物飼育室

- 1号館
- 5F=屋上庭園、薬用植物園分園
 - 4F=芝共立インフォメーションテクノロジーセンター
 - 3F=体育館 (多目的ホール)、トレーニングジム
 - 2F=学生ホール (食堂)、生協購買部
 - 1F=事務室 (学生課)
 - B1F=マルチメディア講堂

- 3号館
- 11F=会議室、セミナー室
 - 10~2F=教員研究室、実験室
 - 10F=RI施設
 - 4F=PC室
 - 3F=薬学メディアセンター (芝共立薬学図書館)
 - 2F=事務室 (総務課、用度課、学術研究支援課)
 - 1F=附属薬局、受付・中央管理室 (警備室)



※ ()内の英数字は教室番号です。